

戦評用紙

大会名	第70回藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	---------------------------------

日時	2018年4月22日 14:30 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	--------------------	----	---------------

チームA				チームB
羽黒				山形南
86	19	1Q	8	59
	18	2Q	18	
	26	3Q	10	
	23	4Q	23	
		延長		

【戦評】

白:羽黒高等学校#4#7#8#13#18 青:山形南高等学校#4#5#6#9#11
 男子の決勝は連覇を狙う羽黒高校と新体制となり王座奪還を狙う山形南の対戦である。
 第1Q山形南ボールで試合がスタートする。両チームともにマンツーマンディフェンス。先制したのは羽黒高校。高さを生かし#7がリバウンドシュートを沈める。山形南も負けじとアウトサイドシュートやドライブで果敢に攻めるが、中々点数に結びつかない。羽黒も山形南の固いディフェンスに攻めあぐねる中、残り時間5分35秒、0対6で山形南が最初のタイムアウト。羽黒高校は#13のリバウンドシュート、#8のドライブなどで点数を重ねていく。山形南は残り時間3分まで無得点が続いていたが#17のミドルシュートを皮切りに点数を取り始め、19対8で第1Q終了。
 第2Qまずは羽黒#13、山形南#4それぞれ3Pシュートが決まり試合がスタート。その後点数の取り合いとなり、差が縮まらない山形南は2-3ゾーンで勝負を仕掛ける。羽黒はゾーンディフェンスを#7、13のインサイド、#8のドライブなどで突破していく。対する山形南も#4の1対1を中心に多彩な攻めを見せる。点差は変わらず37対26で第2Q終了。
 第3Q羽黒高校#8の2連続3Pシュートでゲームがスタート。羽黒は山形南からファウルをもらい着実に点数を重ねていく。ディフェンスでリズムを作れない山形南はオフェンスでもリズムを作れず残り時間5分、52対32で後半1回目のタイムアウト。タイムアウト明け山形南はオールコートマンツーマンからの変則ゾーンディフェンスで状況の打開を狙う。しかし羽黒高校の勢いは止まらず#13リバウンドからのバスケットカウントなどで逆に点差は開いていく。63対36で第3Q終了。
 第4Qオールコートマンツーマンで最後まで諦めない山形南であったが、羽黒も勢いのある選手をどんどん投入し、流れを変えさせない。羽黒#6の3Pシュート、山形南#4のドライブなどで一進一退の攻防を繰り返すが、第3Qのリードを守りきり、86対59で羽黒高校が初の連覇に輝いた。

戦評者

植松 駿也